

平成 29 年 6 月
第 370 号



お
お
く
て

大 神



おもな内容

- ・安藤氏を偲ぶ … P2～P3
- ・自然観察会 … P4
- ・田んぼの学校 … P5
- ・丸森だより … P6
- ・俳句 (4月、5月) … P7

田んぼの学校「田植え体験」5/14(日)

今年もたくさん収穫できるといいね

(小写真：田植えを終えた裏田の夕べ)

安藤秋義さんを偲ぶ

大湫町コミュニティ推進協議会会長

去る4月24日82歳にて永眠された安藤秋義さんは、私たちの大湫町にとってかけがえのない人を失った思いで一杯です。

私たちの思い出の中には、秋義さんは物心ついた時から何時も傍らにいて、その温かいまなざしで私たちを見守り時には厳しく、時には優しく導いてくださいました。「秋さ 秋さ」と慕われ、地域にあっては良き兄貴であり、市の職員として、先輩としても新しい事業にも勇敢に取り組み、常に市民の目で地域の課題に向き合い町の改革を進めてくださいました。また趣味のビデオ撮影は玄人裸足で地域や学校の行事、町の様子などをカメラに収めておられる姿も忘れることができません。

大湫村職員から町村合併で瑞浪市職員とされましたが、昭和四十六年、三十七歳の若さで、市議会議員の父鎮男さんの後継者として、大湫町に議員を無くしてはならないという町民の強い要請に一念発起して瑞浪市議会議員選挙に挑まれました。

初当選以来六期二十四年の長きに亘り市議会の要職を歴任され、瑞浪市のかじ取り役としてその能力を遺憾なく発揮されたことは誰からも認められるところです。

又、家庭では二人のお嬢さんの父親として、PTA会長をはじめとする役職を歴任され、魅力ある僻地教育を推進する大きな原動力となって下さいました。

常に広い社会的視野を持って活動されておられたため、ご家族と過ごす時間が割かれ最愛のお嬢さんたちは少なからずさびしい思いをされたのではないかと心配しておりましたが、お嬢さんたちはそれぞれ素敵なお母さんに育てられるのを見ると、秋義さんの愛情は確かに家庭にも注がれていたと安心いたしました。

議員を退かれてからも、連合自治会長、大湫町区長会長、大湫町コミュニティ推進協議会長など団体の中心として十五年もの長きに亘りふる里のまちづくり活動に心血を注いでいただきました。今年一月、コミュニティ推進協議会が三十周年の節目を迎えることができましたのも秋義さんの努

力があってこそと、感謝いたしております。記念式典でお会いしたのが最後となってしまいました。秋義さんがふる里を愛した気持ちを忘れることのないよう「これからも頑張らなあかん」と言い聞かせていきます。

まだまだ思いは言い尽くせませんが、ご冥福をお祈りし秋義さんを偲んでの一言とさせていただきます。

叙位叙勲

正六位 元瑞浪市議安藤秋義氏

お知らせ「西森川家」

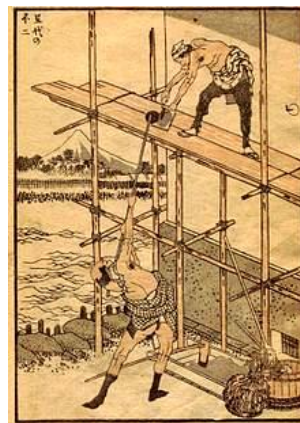
表街道すじの庇補修工事もほぼ完了間近となりました。通行にご不便をおかけいたしました。皆様のご協力誠にありがとうございました。

また、6月4日（日）午後1時から、一部の蔵の瓦剥がしを行います。左官業の方の指導のもと、当時の様式を学び、技術を後輩に伝承するものです。そして倒れた木材の片付けや除草も行います。

また、除草等の事前の準備作業を5月28日午後一時より行います。

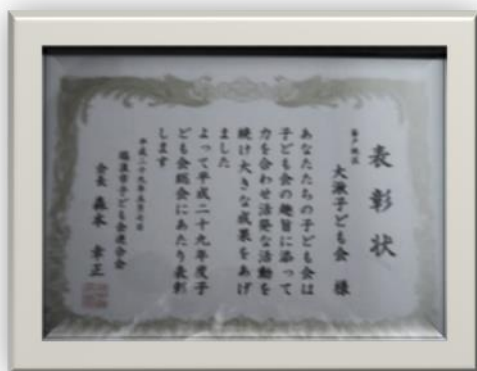
参加いただける方がありましたらご支援ください。

(民間ワイワイプロジェクト 西森川チーム)



大湫子ども会表彰

多年にわたる地域に密着した日常的な活動が成果に繋がり、瑞浪市子ども会連合会から表彰されました。



おめでとうございます。
これからも、期待してま
すよ……

「自然観察会」5/13(土)



雨がしとしと…！残念ですが、「花の森自然観察会」は場所

を大湫公民館に移し、最初に瑞浪

市化石博物館の安藤学芸員から「みずなみの化石」

や瑞浪北中学校の工事現場で発見された

「クジラの化石」等の説明を聞きました。

実際に持参された「化石の実物」「レプリカ」

を触らせてもらいました。



けっくつ重いですね！



ええ〜！そんな
だ〜！！

その時は、アロシアル
ファでくっつけますよ

削る時に失敗したら、
どうするんですか？



次に地元の樹木医のお二人から

植物についての説明を聞きました。

大湫町にある「シデコ
ブシ」「ハナノキ」「ヒト
ツバタコ」はとても珍しい
ものだそうです。



田んぼの学校「田植え」5/14(日)

前日の雨が嘘のような晴天の中、田植えが行われました。

4/29にはおじさん達が下準備作業



去年もやったでまかせて!

お〜お!
頼もしいなあ



最初に「みんなの農園」のおじさんから、田植えについて説明を聞きました

お疲れさまでした。秋には稲刈りに来てネ



作業の後は、おばあさんやお母さんのカレーをいただきました。お米はもちろん、今年の収穫米です



来年もよろしくお願ひします。

丸森だより

5月の催し物は、地元の皆さんによる「春の花の写真展」でした。

この花の名前は？

この花はどこに咲いてた？

どこで撮ったの？

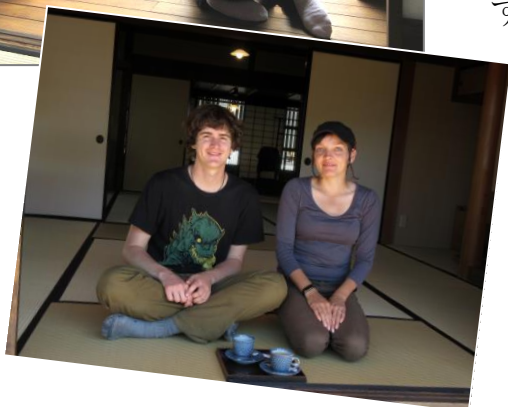
と、花の名前を知らない私はとまどうばかりでした。

どの花も写真に撮られ、改めて命をもらい生き生きと輝いてみえます。まるで「私を見て下さい・・・」と、言っているように。

季節もよくなり多くの方が丸森を訪れて下さいます。

「ここは落ち着くね」と、ゆっくり話をしていられる方、サーと見て出でいられる方、次の宿まで時間がないのか入口でサーと覗いていられる旅人、人様々です。

お立ち寄りいただいた方には、ささやかですがお茶をお出ししております。



おいでの皆さんのなかには、ゆっくりされて、他の宿場町また道中での出来事をお話しされ、それを私たちは楽しく聞かせていただいております。

旅人だけでなく町内の方も大歓迎です。

月ごとに催し物が変わって行きます。時間のある方は何度でも、ない方は時間をつくって足を運んで下さい。お待ちしております。

安藤博子

四月の俳句

天野辰代

半生を峠の口や黄水仙

大屋根に鳥の二羽や山笑う

夫の手に摘まれて香る露の臺

山口雪子

縁先で聞き上手となる春日かな

芹の香や存らふ主婦の厨事

癒えし目に見えたる初の燕かな

足立 亘

露ほけて駆け足ふきの春土手の下

嬉々として桜指さす稚児の声

渡辺 栄

鶯うぐいすが掛け合い鳴けり飛び去りぬ

味噌和えの葱坊主添え昼餉ひるげかな

五月の俳句

天野辰代

釈迦像の右手は天へ花祭り

老鶯や杖を頼りてポストまで

筒たけのこを貫もらふ重さの尊さよ

山口雪子

峠へと続く古道こどうの花は葉に

竹の秋水みなも面に映すダムうつの村

洋館の屋根の鋭角えいかく夏近し

大竹照子

カルピスを飲む朝うましゲートボール

田植みなもえ後水面みなもに写る

逆さ宿



リ・アップ “ひよも” だより

6月のお茶のみ会のおさそい

日時：6月7日（水曜日）9：30～11：00頃まで

場所： ふれあいセンター

参加費： 50円

お待ちしております

「高齢者交通安全教室」を予定しています。

大湫を好んだ「彼女」

〔後編〕

河端 久江

前号では

大湫周辺を好み、その山あいから人々の生活をそれとなく眺めていた、一頭の日本カモシカについての話でした。

寿命は二十年前後といわれる日本カモシカですが、わが町を往来する彼女は、八歳の牝めすとのこと。

大湫公民館にも以前、写真が展示されていましたがご覧になっていることでしょうか。

さて、今回は、このカモシカにとり、最悪の事態が発生したことをお知らせしなければなりません。

元来、野性の生きものは警戒心が強く、用心深いもの、人間との距離を充分とりながら行動しています。当然彼女もそうであった……と思いたいのですが、なぜあの現場に現れたのか。

四月六日、早朝でした。

車で自宅を出て間もなくのこと

「カモシカがU字溝の中に！」と、同乗の息子が見つける。すでに警察官が第一報者からの知らせを受け、路上を探したが見当たらず、署に戻った後でのことでした。

道路上には血痕もあり、カモシカは交通事故に遭遇したものの、と直感しました。

診察した担当者は冷静に私達に言いました。

「骨盤が折れている、無理ですね」

「生かす方法はないのですか、助けて上げてください」

「野性動物ですからね」

その場に居合わせた関係者全員、肩を落とし、カモシカを見つめるばかりでした。私は手を合わせ、助ける術すべは消え、むなしい思いで現場を離れました。

遠くの山々は、もえぎ色に染まり、足元のふきのとうは大きく白い花をつけ、大湫の春が本番を迎えようとしている時、彼女の半生がこのような結末に終るとは思いもよらず、残念な思いが去来する日々でした。

野性の生きものにとり「けものみち」も舗装道路も、わ

が道だったのです。ただスピードの出た車の恐ろしさを知^{よし}る由もなかった、ということでしょうか。



豊かな自然が残り、遠く江戸時代との深い縁で結ばれる中山道大湫宿、そこに天然記念物に指定された一頭の日本カモシカも、強く心を惹かれ往来していたのでしょうか。と、私の気まぐれなストーリー作りも、この辺でおわりといたします。

了

桜餅 一口頬張る 幸せかな

四月も終わりに近づいた頃、大湫にも八重桜の美しい時期がやって来ました。

愛らしいピンク色の小さなつぼみ、満開にならない内に花を摘む作業から始まりです。花を水でそっと洗い、花の

全量を計り塩で下漬けして重石をして五日ほどおき、水が上がったら花の水気を絞り白梅酢を加えて一週間、それから花を絞ってザルに上げ、三時間ほど陰干し、保存用の塩を全体に丁寧まぶして冷蔵庫で保存。

「失敗しても大丈夫、いろいろ挑戦してみてください」と、河端先生のやさしい指導。二時間程でしたが、とても楽しい時間でした。

手作りの桜餅もいただき、持ち帰って仏壇に供え、縁という目には見えない不思議な力に導かれる思いを感じ、感謝の心を忘れずに、時にはコーヒートを桜湯に変え、心の糧として、ゆつくりとした時間を一緒に過ごしましょう。

安心して下さい。

私は今幸せです。

足又地区

先生の手作りお菓子の

ファンより



健康寿命

前回、オリンピックが開催された昭和四十年頃、日本の「百歳」長寿者は二百五十人程だった。経済状況がよくなり、食生活が向上するにつれて百まで生きる人は年々増加し、平成の初めには一万人を超え、平成二十年頃には七万人を突破した。現在は恐らく八万人を超えているだろう。

その中で日本一の長寿者は、岩手県の釜石市に百十五歳まで生きた男性があった。長寿県と言われている沖縄には百十六歳まで健康で生きた人があった。今と違って医療施設も悪く、肉体労働は苛酷であり、食生活は貧弱だったが、「造化の神」が巧妙につくって呉れたお陰で、これからも長命者は増加するだろう。

昔から、「命」だけは幾ら金を積ん

でも買うことが出来ず、自分で管理する以外に方法がなかった。日進月歩の医学のお陰で今までは助からぬ病人でも一命を取り止めることが出来るようになって来た。

昨今、「病院で殺される」とか「その健康法は間違っている」と言う医師の書いた本がベストセラーになっている。「薬の飲み過ぎ」も問題になっている。「文明開化」によるストレスで新しい病気が次々に現れている。

保険制度の拡充によって高額医療にも適用されるようになった。治療費の負担に耐えられる人はいいが、経済的に恵まれぬ人は死を待つかない。高齢者の医療を優先し、少子化対策が依然として疎かにされている。

「転ばぬ先の杖」で日頃の健康管理の必要性は誰もが知っているが、実行は難しいと嘆いている。体調不良を感

ずればすぐ病院に行く。それが常識であるが、病院は健康管理をサポートしてくれる場所であって、病気を治すのは本人の努力であるのは論をまたない。あまりにも病院任せの人が多過ぎるのではないだろうか。

毎日、テレビや情報紙で健康管理について教えているが、実行は二の次が当たり前である。人体はまだまだ進化する必要がある。

今更言っても始まらぬが、健康管理の第一条件は「予防」に勝るものはない。「腸は利口で、脳は馬鹿」と言う本を目にしたことがあるが、何万年も進化して来た私達は、もっと自身の体を知って「健康寿命」を伸ばしたいものである。

天野長三郎





H.29

6月の集まろう会

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まろう会

★ さつまいもの苗植えをします。

6月の始めに苗が来ます。今回は、近所のおばさんたちで、苗植えをします。たふので集まりはありませんが10月頃のさつまいもの収穫、焼きいも大会をお楽しみに!!
(場所は、今年も棚橋和代さんのところの畑です)
(草刈りや、土を耕してくれたり、準備をしてお知らせありがとうございます)

★ 6月17日 土曜日、9時30分頃から、

きなあた瑞浪の記念祭に太鼓出演します!!

小さなお子から大人まで 約20人で参加します。

みなさん見に来て下さいね。



今月の太鼓練習

6/3(土) 9時30分

太鼓練習後、バタ-ゴルフ場で、バタ-ゴルフの大センパイ方との交流会で、お茶あしをします。大人のみ、100の会費です。ぜひみなさん参加して下さい。参加できる方は声をかけて下さるとありがたいです。

6/17(土)はきなあた瑞浪の太鼓出演のため

お休みします。

「ほっか」のお店のお知らせ

新しい作品が入りました。

布ぞうりや小物入れの袋、ソックモンキー、

タティングレースのアレスレット、ヘアピン、バレッタ、

コースターなど可愛らしい作品です。見に来て下さい!!

※中仙道ゴルフ場にも常時作品を置かせていただいています。

ぜひ、こちらも見てください!!

(中仙道ゴルフ場の皆さま、いつもありがとうございます)



「大湫公民館・大湫コミからのお知らせ」

オススメ！大湫分室の本 「旬野菜のちから」

タナカトウコ：著

体が喜ぶ旬野菜の効果的な食べ方があります。様々な不調を食べて改善してみませんか？野菜の働きから、良い野菜の選び方、おいしく食べるポイントまで書かれています。

ご招待券あります（各2名様）

『コレクション×クロニクル』

期間：6月18日(日)まで

会場：岐阜県現代陶芸美術館

*同時開催(ギャラリーⅡ)

国際陶磁器フェスティバル美濃の歩み

期間：7月2日(日)まで

*大湫宿お休み処

6月の営業は4日(日)・11日(日)・18日(日)・25日(日)です。

皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

*おもだか屋『ほっか』

6月営業日(原則)毎週金、土、日曜日 営業時間 AM10:00~PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事もあります。)



区長日記

好天に恵まれ、5月14日取り組みました「みんなの農園」田んぼの学校では、70人を超える参加者を得て子供たちの歓声に包まれながら楽しい行事となりました。釜戸小学校の吉村校長先生や樋田議員にも加わっていただき、大湫町の青少年教育の一ページを彩ることができましたこと、田んぼの準備からカレーライスまで、ご支援いただいた関係者のご支援の賜物と心からお礼申し上げます。さて、瑞浪市では、今年の七月に開催される市長と語る会のテーマとして「若者が住みたくなる(帰ってきたくなる)まちについて」を取り上げ、広く市民の提案を募集しています。町といたしましても、「ものづくりの里―芸術の香る街づくり」を標榜し、わら細工や竹細工など生活に息づく伝統的な物づくりの振興から、陶芸・木彫・彫刻など芸術家の定住や活動の場の提供などに努めてきていますが、更に「若者が住みたくなる」という切り口から、大湫町の地域振興の方策を提案いただけたらと願っています。

今年は三年ごとの国際陶磁器フェスティバルの開催年となっており、大湫町で開催する「オオクテ・ツクルテ」もこの事業の一環として二週にわたって開催されますので、「こんな町に住みたいな♡」と思ってもらえるようなプラスαの企画提案がいただけたら幸いです。

試行錯誤の中出発いたしました指定管理事業の「丸森邸」「大湫公民館」も、各種企画展示や「くての市」など、町民の皆様のご支援により、一つひとつ彩りを加え、大湫の名所になってきています。また、長寿会をはじめとする町民の皆様の環境整備に関わること努力のお蔭をもちまして、居住者は勿論中山道を行き交う旅人にも愛される町であり続けられることを感謝したいと思います。

足立 亘

- 5月3・4日 神田・野田水利点検
- 7日 キャンプ場・小学校整理作業
- 8日 定例幹事会・区長会
- 10日 社会福祉協議会大湫支部総会
- 11日 「みんなの農園」代かき



青色回転灯防犯パトロール

6月のパトロール予定者

(6/月上旬)

足立 亘・奥村 寛

(6/下旬)

三戸憲和・渡辺貴徳

デマンド交通利用者

(大湫～日吉東部)

4月:36便 延べ57名

- 12日 税務対策臨時幹事会
- 13日 自然観察会・転入対策委員会
- 14日 「みんなの農園」田んぼの学校(田植え)
- 17日 中学校統合委員会
- 18日 「みんなの農園」カボチャの植栽
- 20日 長寿会合同環境整備事業・森林組合総会
- 21日 青少年育成市民会議
- 23日 パターゴルフ場運営委員会・自然保全委員
- 24日 財産区有林緊急災害復旧事業準備作業
- 26日 コミュニティ税務対策打合せ会議
- 28日 財産区有林緊急災害復旧事業

平成二十九年六月行事予定

日	曜	予	定
二	金	定例区長・幹事会	
三	土	集まろう会（太鼓・他）	
五	月	財産区全員会議	
七	水	リ・アップ「ひよも」	
十	土	おしゃべりサロン／社協ふれあいサロン「くすりのお話」 釜中授業参観	
(一)	日	「うちわ展」最終日（5/27） 消防操法大会	
一三	火	青少年育成町民会議	
一四	水	からだづくり教室	
一七	土	集まろう会（きなあたた鼓出演）	
(一八)	日	夏季奉仕作業／市主張大会	
二三	金	釜小授業参観	
二四	土	おしゃべりサロン	
三〇	金	広報委員会	

今月の資源ごみ：6/20(火)不燃ごみ：6/6(水)

編集後記

一家の大黒柱として頑張ってくれ
るお父さん。楽しい思い出を作っ
てくれるお父さん。若いと思ってい
た父の背中に「年輪」を感じるよう
になったり、ふだんは顔を合せてい
ても別に何も思わないのに「父の日」
という言葉を知り、あらためて思
うことがあったり。

幼子には、お母さんに抱っこを求め、
お父さんには「高い高い」を求めま
す。お父さんが子育てに関わるこ
とは父親にとって自分の生き方を見直
すきっかけになるとか…？

お父さんたち、頑
張って下さいね。



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
平成29年6月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>